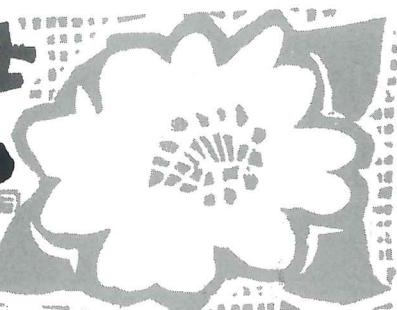


令和 2 年(2020)
第122号

発行 令和2年8月1日

多古町社協だより

社会福祉
ざくふく



(桧木老人クラブ 記事4ページ)

主な内容

- | | |
|------|--------------|
| 2ページ | 平成31年度の事業報告 |
| 3ページ | 平成31年度の決算報告 |
| 4ページ | 介護福祉士実務者研修など |

編集・発行

社会福祉法人
多古町社会福祉協議会

多古町多古777番地1
電話 76-5940
URL:<http://www.takoshakyo.jp/>

平成31年度 事業報告 (概要)

「ゆたかな自然と文化と歴史に育まれる町」

多古町社会福祉協議会は、地域の皆さんといっしょに、安心して暮らせるまちづくりのために活動している団体です。さまざまなサービスの充実とともに、今後ともさらなる発展をめざしていきたいと考えています。

※事業案内、決算の詳細はホームページでもご覧になれます。URL:www.takoshakyo.jp

こんな事業を行っています

◆居宅介護支援事業

要介護高齢者の総合的な相談やケアプラン等を作成し、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活が送れるよう、利用者の希望に沿った支援に努めました。

◆訪問介護・予防・日常生活支援総合事業

要介護・要支援状態にある高齢者に対し、保健・医療、福祉との連携を図りながら訪問介護サービスを提供しました。

◆障害者福祉事業

障害者総合支援法に基づく指定をうけて、サービスの利用を希望される方にヘルパーを派遣しました。



◆日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない高齢者や障がいの方に、福祉サービスの利用に関する相談・援助をはじめ、日常的な金銭管理のお手伝いなど自立生活の支援をしました。

◆外出支援サービス(高齢者・障害者)

車いす、ストレッチャー対応の車両で要介護認定を受けた方や、重度の身体障害者の方などに外出支援サービスを行いました。

◆共同募金配分金事業

赤い羽根共同募金運動に積極的に協力しました。集められた募金は千葉県共同募金会へ一旦集約され、民間福祉施設、団体等に配分され地域福祉の向上に役立てられました。

◆相談事業

広く住民の皆さまの日常生活上のあらゆる相談に応じ適切な助言、援助を行って地域福祉の増進につとめました。

◆食事サービス事業

ひとり暮らし高齢者等を対象に、保健推進員や運転ボランティアと共に訪問し、声掛け・安否確認を行いました。

◆ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業

70歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に民生委員児童委員を通じ乳酸飲料を月2回提供し、安否確認、見守りをしました。

◆貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者世帯の自立と更生をめざして、福祉資金の貸付と必要な援助指導を行いました。

◆日常生活用具貸付事業

町内在住の方々に車いす、ギャッジベッド、高齢者疑似体験セットの貸し出しを行いました。

◆学童保育所事業(町受託事業)

児童の遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的に、学童保育所の運営をしました。

◆いきいき健康サロン事業(町受託事業)

誰でも立ち寄れるサロン「わあーかちいーと」の運営をしました。



平成31年度決算

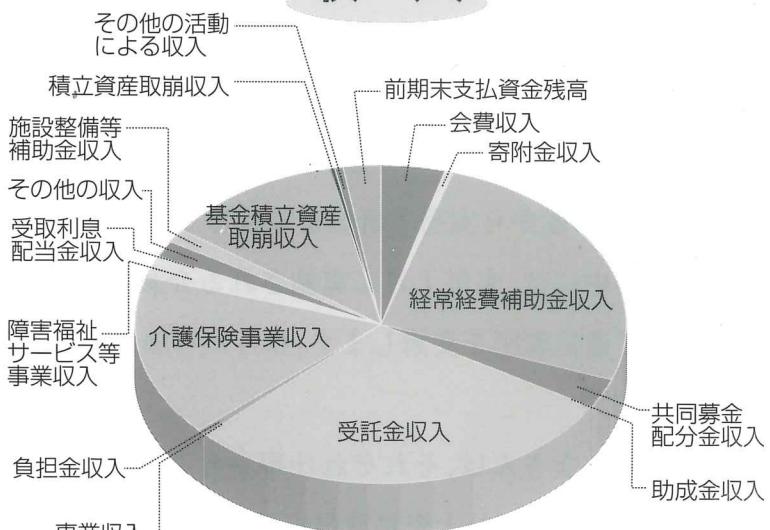
理事会・評議員会にて決算が認定されました。

収入

単位：円

会費収入	4,322,000
寄附金収入	587,531
経常経費補助金収入	26,737,083
共同募金配分金収入	3,021,682
助成金収入	66,000
受託金収入	30,254,398
事業収入	15,600
負担金収入	450,060
介護保険事業収入	16,863,697
障害福祉サービス等事業収入	2,228,580
受取利息配当金収入	8,868
その他の収入	1,809,177
施設整備等補助金収入	1,529,712
基金積立資産取崩収入	11,990,000
積立資産取崩収入	135,000
その他の活動による収入	600,120
前期末支払資金残高	2,479,991
収入合計	103,099,499

収入

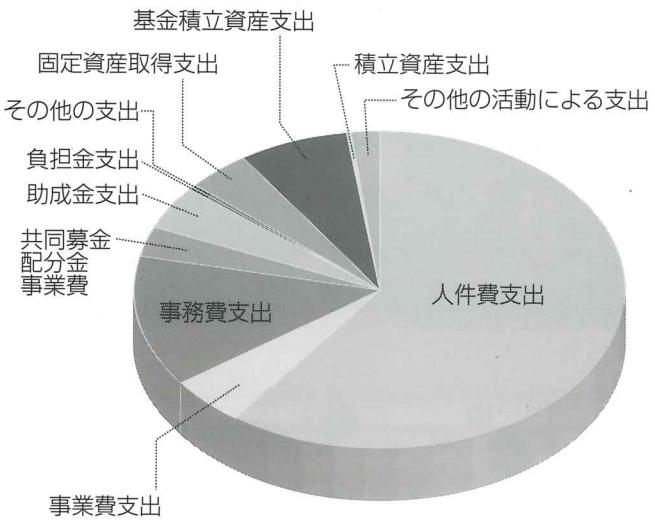


支出

単位：円

人件費支出	61,885,453
事業費支出	5,149,465
事務費支出	13,961,080
共同募金配分金事業費	3,021,682
助成金支出	4,759,665
負担金支出	195,800
その他の支出	108,500
固定資産取得支出	4,403,234
基金積立資産支出	7,500,000
積立資産支出	382,000
その他の活動による支出	1,732,620
支出合計	103,099,499

支出



◆介護福祉士実務者養成施設

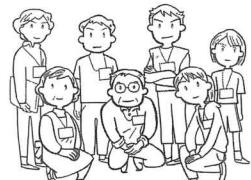
介護職員が不足する状況が続いているため、町内の関係機関の協力を得ながら、介護人材の確保や育成を図ることを目的とし実施しました。

◆ミニデイサービス事業

家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に、生きがい・活力を持ってもらうためミニデイサービスを開催しました。

◆ボランティア活動育成事業

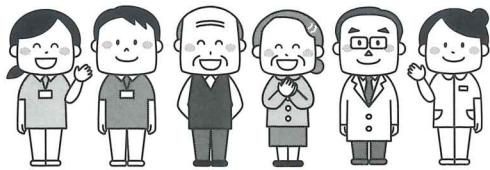
ボランティア活動に対する理解や関心を深めるため、ボランティア団体や会員の育成・連携を図りました。



また昨年度は台風による被害により災害ボランティアセンターの運営を行い県内外よりボランティアの受け入れ・派遣を行いました。



護福祉士実務者研修が 始まりました

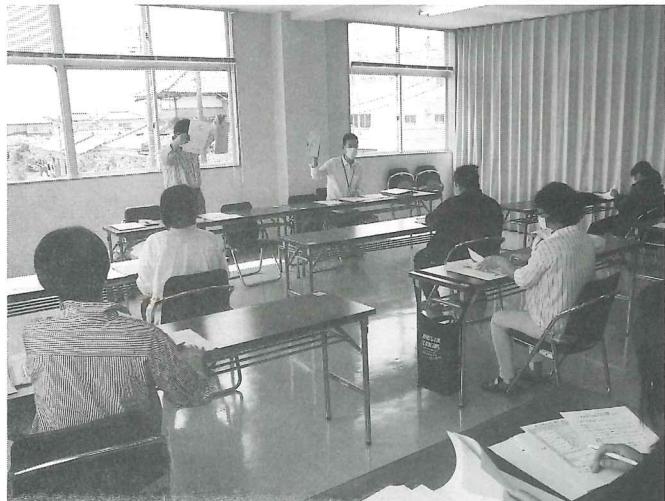


5月1日(金)、当社会福祉協議会で介護福祉士実務者研修(通信課程)の開講式が行われました。新型コロナウイルス感染予防の対策をとりながら開催しています。

多古町をはじめ全国的に介護職員が不足している状況が続いているですが、介護職員の確保と育成を目的に、昨年度から実務者研修を開講しています。

受講生の中には、来年1月に実施される介護福祉士国家試験を受験予定の方も多く、これから11月にかけて通信講座を受講します。6月から隔週土曜でスクーリングも始まっています。

受講生のみなさんは、それぞれ仕事をしながら勉強を進めていますが、実務者研修の修了と介護福祉士資格取得を目指して頑張ってください。



花いっぱい運動

6月5日、青空が広がるなか多古町老人クラブ連合会の花いっぱい運動が実施されました。今回表紙にも掲載させていただきました。多古町を花でいっぱいにかざり、町民のみなさまに笑顔と元気を届けられるよう、各会員で地区の花壇などに植えました。たくさんの方々の目にとまることで心が豊かな町づくりをめざします。毎年2回(夏、冬)行っていますので、次回12月も楽しみにしていてください。

善意のご寄付

ありがとうございます

「福祉活動に役立ててください」と、
次の方々から寄付金をいただきました。
ありがとうございました。
(敬称略)

匿名	476円・衣類
鈴木四郎	50,000円
61平成会・79会・21会	330,225円
(高木雅喜・藤崎一・原信秀・佐藤克己)	

4月1日から6月30日